東京ソイルリサーチ創立60周年

受け継がれる使命、共に描く未来図

大型民間事業の実績重ねる

グループ全体で効果的な提案を

東京ソイルリサーチ（東京都目黒区、辻本勝彦社長）は、今年で創立60周年を迎えた。地盤調査の技術力を生かして、都市部の民間開発事業などを中心に実績を積み重ねてきた。2024年にE・Jホールディングスの傘下に入り、シナジー（相乗効果）を生かした事業展開に取り組んでいる。今回、60周年を記念して辻本社長とE・JHDの小谷裕司社長が対談。技術者の育成を含め、将来に向けた活動について意見を出し合った。

辻本氏

小谷氏

株式会社東京ソイルリサーチ 代表取締役社長 辻本 勝彦氏

E・Jホールディングス株式会社 代表取締役社長 小谷 裕司氏

対談

――創立60年という節目を迎えた辻本社長の思いをお聞かせください。

辻本　まずは60年にわたって、多くの企業の中から当社を選び支えてくださったお客さま、そして苦楽を共にしてくださったパートナー企業各社に感謝申し上げます。また、当社の先人たちと現職の社員一人一人が誠実に努めてきた結果、当社の今があると思っています。そのことにも感謝と敬意を表します。60年前、わずかな資本金と38人のメンバーで創業した当社の職員数は、270人を数えるまでに成長しました。創業者をはじめ我々が大切にしてきた企業理念「正確な調査をする会社」であり続けることが、今も社員に脈々と受け継がれているものと信じています。この思いは、創立時に制定された社是にも基本的な経営観として込められています。

――代表的な技術に「原位置凍結サンプリング工法」などがあります。技術開発を重視してきた背景を教えてください。その中で、つくば総合試験所が果たしてきた役割は。

辻本　創立時は地盤・基礎工学の黎明（れいめい）期でした。地盤調査をなりわいとする企業も少なく、社会的評価も定まっていない状況でした。そうした中でスタートした当社では、現場技術の確立に力を注ぎ、研さんに努めてきました。その成果が「軟弱地盤の不かく乱試料の採取工法」であり、砂・礫質土を対象にした「原位置凍結サンプリング工法」の技術開発でした。

当社の取り組みの中で、中核的試験所と位置付けているのが、1984年に開設したつくば総合試験所（茨城県つくば市）です。共同研究で指導を受けていた当時の建設省建築研究所や土木研究所などが、つくば研究学園都市に移転するのに対応したものでした。

試験所には、日本有数の大型振動三軸試験装置など最新の試験装置を導入し、動的試験や振動台実験に関わる業務で実績を重ねてきました。官公庁の研究機関から受託した業務の着実な遂行と、技術の研さんに努めてきました。地震・防災分野では、当社の技術が少なからず貢献できたと思っています。

――グループに所属する若手技術者への期待を。

小谷　エイト日本技術開発は、本年度から入社した各社員に自らのパーパス（存在意義）を書いてもらうことにしました。技術者としてどんな役割を果たして会社に貢献していきたいのかを明確にしてもらい、効果的な人材育成や人員配置に役立てるのが目的です。E・Jグループを選んで就職してくれた人材それぞれの思いを生かして活動してもらうために、グループ各社の経営者には、人材を資本と捉えて育成や活用に積極投資する「人的資本経営」に取り組もうという問題提起をしています。

辻本　当社の技術力を維持・向上させる上で、人材を大切にする姿勢は今後も変わりません。社員には、先ほども申し上げた企業理念を忘れず、技術者として真摯（しんし）に業務に取り組んでほしいと思っています。地盤のスペシャリストとして深い専門性を持ちながら、他分野の技術を理解する広い視野を持つことも必要となるでしょう。当社内でも各技術者の考え方をヒアリングしながら、個々の思いとミスマッチのないような人材育成を行ってまいります。

■　■　■

――60周年を迎え、さらに将来に向けたビジョンをお聞かせください。

辻本　当社で仕事を行う醍醐味（だいごみ）は、お客さまの地盤、基礎、既存構造物の課題を解決して、安心・安全な建物を提供できることです。そのことに誇りを持って、引き続き取り組んでいきたいと思います。その中で企業理念に掲げた会社であり続け、社員が安心して挑戦し、自らの意志で貢献できるような会社を目指してまいります。E・Jグループの一員として、100年企業を実現するためにも、既存事業を維持・拡大しながら周辺領域にも広げていけるように果敢に挑戦してまいります。

――東京ソイルリサーチを含めたE・Jグループの将来像をどのように考えていきますか。

小谷　優れた技術力と判断力をベースにして、真に豊かな社会づくりに貢献していくことがグループ全体での目標です。公共事業を主体に取り組む中で、発注者の判断に委ねる部分が多くありました。これからは、発注者に委ねていた判断を含めて、建設コンサルタントの責任において取り組むことになると認識する必要があるでしょう。そうでなければ、生き残っていけないと思っています。そのためにも強みとする領域をグループ各社で補完し合いながら、しっかりとした技術力で対応できるよう体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。

E・Jホールディングスでは「価値ある環境を未来に」を掲げています。先達や我々が築いてきた価値というものを、技術力を含めてグループ全体に引き継いでいけるように、さらに力を注いでいきます。

■　■　■

――巨大地震や豪雨災害の発生が懸念される中、地盤技術の役割はどう変わっていきそうでしょうか。

辻本　地盤技術は「社会の安心・安全を支えるもの」です。地盤が脆弱（ぜいじゃく）な日本では、特に重要な役割があると考えています。可視化できない地下の状態など、地盤情報を収集・分析する地盤技術は、構造物の強靱化にも寄与しますし、災害発生時の迅速な復旧にも必須です。今後はDXやAI活用への積極的な取り組みやデジタルツインへの対応が求められると思っています。

――グループに所属する若手技術者への期待を。

小谷　エイト日本技術開発は、本年度から入社した各社員に自らのパーパス（存在意義）を書いてもらうことにしました。技術者としてどんな役割を果たして会社に貢献していきたいのかを明確にしてもらい、効果的な人材育成や人員配置に役立てるのが目的です。E・Jグループを選んで就職してくれた人材それぞれの思いを生かして活動してもらうために、グループ各社の経営者には、人材を資本と捉えて育成や活用に積極投資する「人的資本経営」に取り組もうという問題提起をしています。

辻本　当社の技術力を維持・向上させる上で、人材を大切にする姿勢は今後も変わりません。社員には、先ほども申し上げた企業理念を忘れず、技術者として真摯（しんし）に業務に取り組んでほしいと思っています。地盤のスペシャリストとして深い専門性を持ちながら、他分野の技術を理解する広い視野を持つことも必要となるでしょう。当社内でも各技術者の考え方をヒアリングしながら、個々の思いとミスマッチのないような人材育成を行ってまいります。

■　■　■

――60周年を迎え、さらに将来に向けたビジョンをお聞かせください。

辻本　当社で仕事を行う醍醐味（だいごみ）は、お客さまの地盤、基礎、既存構造物の課題を解決して、安心・安全な建物を提供できることです。そのことに誇りを持って、引き続き取り組んでいきたいと思います。その中で企業理念に掲げた会社であり続け、社員が安心して挑戦し、自らの意志で貢献できるような会社を目指してまいります。E・Jグループの一員として、100年企業を実現するためにも、既存事業を維持・拡大しながら周辺領域にも広げていけるように果敢に挑戦してまいります。

――東京ソイルリサーチを含めたE・Jグループの将来像をどのように考えていきますか。

小谷　優れた技術力と判断力をベースにして、真に豊かな社会づくりに貢献していくことがグループ全体での目標です。公共事業を主体に取り組む中で、発注者の判断に委ねる部分が多くありました。これからは、発注者に委ねていた判断を含めて、建設コンサルタントの責任において取り組むことになると認識する必要があるでしょう。そうでなければ、生き残っていけないと思っています。そのためにも強みとする領域をグループ各社で補完し合いながら、しっかりとした技術力で対応できるよう体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。

E・Jホールディングスでは「価値ある環境を未来に」を掲げています。先達や我々が築いてきた価値というものを、技術力を含めてグループ全体に引き継いでいけるように、さらに力を注いでいきます。

変わりゆく未来へ挑み続ける専門家集団

ミッション

人々の安全と安心を支えるために、自然と共存するための専門技術と人材をもって広く社会の発展に貢献する

経営理念

地盤から建物までの良きパートナーとして、技術とサービスを追求し、お客様から信頼され、必要とされる企業を目指します

長期ビジョン

「地盤や構造物の調査・設計業務にワンストップで対応できる専門家集団」になること

東京ソイルリサーチ コーポレートサイト

株式会社 東京ソイルリサーチ
TOKYO SOIL RESEARCH CO.,LTD.
https://www.tokyosoil.co.jp/
本社　〒152-0021　東京都目黒区東が丘 2-11-16　TEL 03-3410-7221　FAX 03-3418-0127

E・Jホールディングス株式会社
https://www.ej-hds.co.jp/
〒700-0087　岡山市北区津島京町 3-1-21　TEL 086-252-7520　FAX 086-252-8918

E・Jホールディングス コーポレートサイト